

# 第1回 労働講座

## イントロダクション

働き方の選択肢を広げてみると？

9月23日 コーディネイター

経営学部 早川佐知子

# 本日の内容

(1)この授業について

(2)未来の働き方はどのように変わる？

(1)この授業について

- 『学部間共通総合講座シラバス 2021年度』を参照のこと。
- Oh-o! Meijiを通じて、必要事項を連絡する場合がありますので注意すること。
- 本講座のウェブサイトに関連事項や配布資料、映像、リンクなどを掲載するので、随時閲覧すること。  
<http://www.isc.meiji.ac.jp/~labored/kifukoza/rodokoza2021>

# 授業のスケジュール(前半)

回	日付	タイトル
1	9月23日	イントロダクション
2	9月30日	ゲスト・トーク OB・OGの働き方
3	10月7日	職場のリアル(1) 現役人事部が語るキャリア・ルート
4	10月14日	職場のリアル(2) なぜ過労死はおきたのか？
5	10月21日	職場のリアル(3) 労働組合の活動
6	10月28日	職場のリアル(4) 働く人たちの貧困
7	11月11日	労働者の権利(1) 労働法Q&A

# 授業のスケジュール(後半)

回	日付	タイトル
8	11月18日	労働者の権利(2) 職場の安全とハラスメントQ&A
9	11月25日	労働社会の改革(1) 日本の労働社会の成り立ち
10	12月2日	労働社会の改革(2) ジェンダーの視点から考える
11	12月9日	労働社会の改革(3) 安心して働ける雇用と労働政策
12	12月16日	労働社会の改革(4) 「自由な働き方」の落とし穴
13	12月22日	労働社会の改革(5) 外国人労働者
14	1月13日	総括／ふりかえり

# 1. 講義の内容について

## 講義の流れ(シラバス参照)

- OB・OGの職場の経験をとおして、就職先での働き方について知る。
- 学生アルバイトのアンケート結果から、労働者の権利と問題解決の方法について考える。
- 職場の問題を社会的に捉え、労働組合の役割について考える。
- 日本の労働社会の改革の方向について考える。
- レポート提出

## ゲスト講師について

- 第2回目(9月30日): 2人の社会人(1人は明治大学経営学部OB)
- 第3回目(10月7日): 大手企業の人事部マネージャー

(シラバスでは初回のイントロダクションで、ビデオ『OB・OGインタビュー』を上映とあるが、今年度の上映は無し)

## 講義の寄付者について

- 労働講座企画委員会(労働組合や労働NPOで構成)



## 2. オンライン講義について

- 講義の動画とパワポ(PDF)を9月23日から毎週木曜日13:00までにOh-o! Meijiにupする。
- 受講学生は、出席確認を兼ねた感想文を提出する。その書式ファイルは、本イントロダクションとともにOh-o! Meijiにupするので、毎講義の感想文はこの書式ファイルを使用のこと。
- 感想文は、純正wordまたはpdfで作成し、毎回レポートとしてOh-o! Meijiに提出する(純正wordで作成しないと、Oh-o! Meijiにupされたレポートをダウンロードできないことがある。その場合は、評価対象外とする)。
- 感想文の提出期限は、講義用プリントupから最短で48時間後の、毎週土曜日13:00である。期限を厳守されたい。

### 3. 成績評価について

- 毎回の講義ごとに、出席確認を兼ねた感想文を提出する。各4点×14回で計56点。
- 最終課題レポートは44点で評価する。課題と締め切りは、11月18日までに発表する。なお、シラバス記載の参考書、または他の書籍を1冊以上読んで、レポートを作成すること。

# 参考図書

- 濱口桂一郎『若者と労働:「入社」の仕組みから解きほぐす』(中公新書ラクレ・2013年)
- 濱口桂一郎『働く女子の運命』(岩波新書・2015年)
- 森岡孝二『雇用身分社会』(岩波新書・2015年)
- 中澤誠『ルポ過労社会』(ちくま新書・2015年)
- 横浜市男女共同参画推進協会編著『シングル女性の貧困』(2017年)
- 石田真ほか『大学生のためのアルバイト・就活トラブルQ&A』(旬報社、2017年)
- 『ポケット労働法』(東京都産業労働局)
- 小熊英二『日本社会のしくみ 雇用・教育・福祉の歴史社会学』(講談社現代新書・2019年)
- 大沢真理『企業中心社会を超えて—現代日本をジェンダーで読む』(岩波現代文庫・2020年)

# Q1 将来の仕事をどのように 考えていますか？

- 具体的に就きたい職業
- 人生のキャリアプラン
- どこで働く？
- どんなふう to 働く？
- 働くうえで重視していることは？
- 仕事を選ぶうえで重視していることは？

## (2) 未来の労働社会について考える

R. グラットン(2012)

『WORK SHIFT』(プレジデント社)より



Q2

未来の労働社会はどのように  
変質しているだろうか？



# 未来を形作る要因①

## テクノロジーの変化

- テクノロジーが飛躍的に発展する
- 世界の50億人がインターネットで結ばれる
- 地球上の至るところで「クラウド」を利用できるようになる
- 生産性が向上し続ける
- 「ソーシャルな」参加が活発になる
- 知識のデジタル化が進む
- メガ企業とミニ起業家が台頭する
- バーチャル空間で働き、「アバター」を利用することが当たり前になる
- 「人工知能アシスタント」が普及する
- テクノロジーが人間の労働者にとって代わる

# 未来を形作る要因②

## グローバル化の進展

- 24時間、週7日休まないグローバルな世界が出現した
- 新興国が台頭した
- 中国とインドの経済が目覚ましく成長した
- 儉約型イノベーションの道が開けた
- 新たな人材輩出大国が登場しつつある
- 世界中で都市化が進行する
- バブルの形成と崩壊が繰り返される
- 世界のさまざまな地域に貧困層が出現する



# 未来を形作る要因③

## 人口構成の変化と長寿化

- Y世代の影響力が拡大する
- 寿命が長くなる
- ベビーブーム世代の一部が貧しい老後を迎える
- 国境を超えた移住が活発になる

# 未来を形作る要因④

## 社会の変化

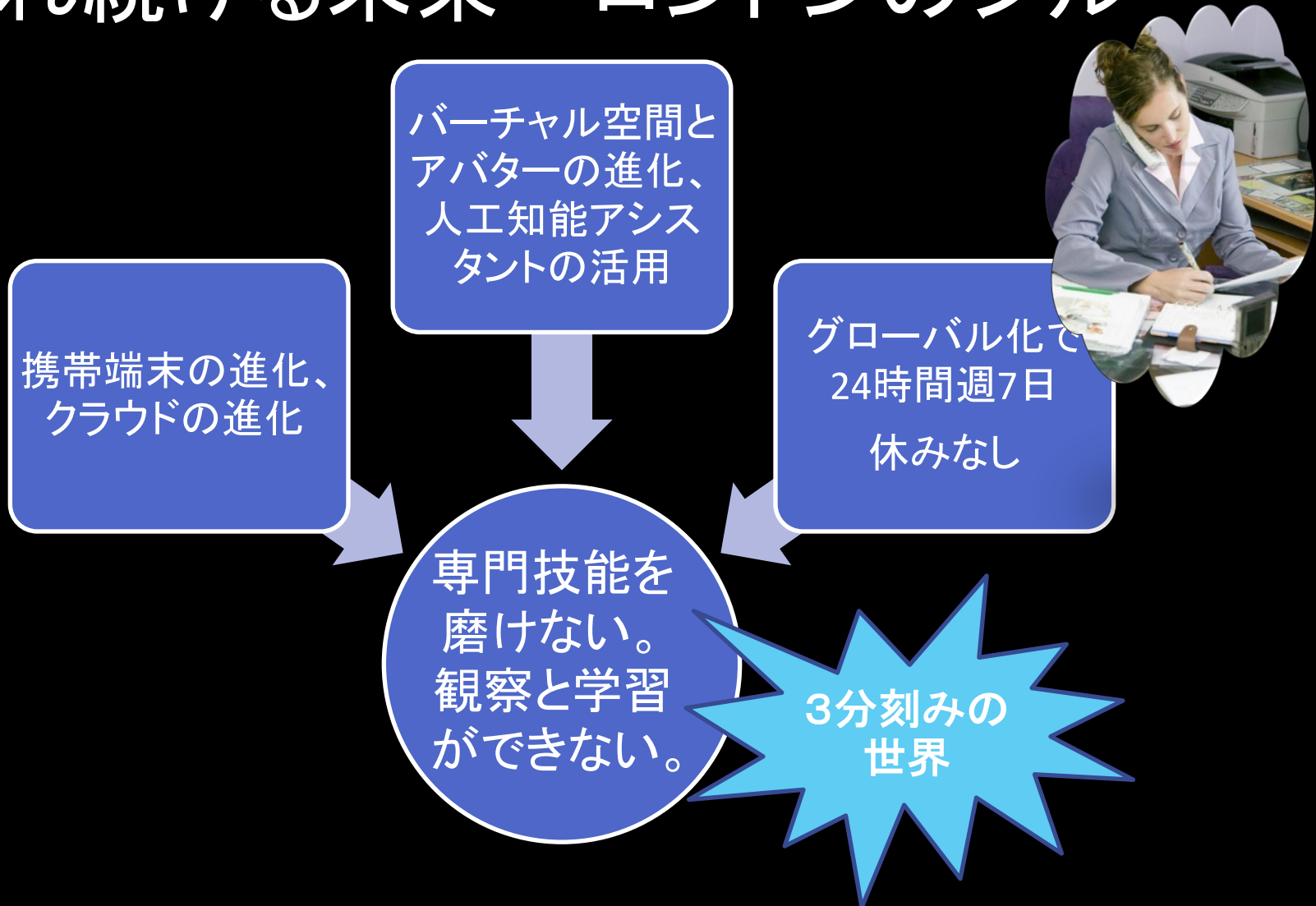
- 家族のあり方が変わる
- 自分を見つめなおす人が増える
- 女性の力が強くなる
- バランス重視の生き方を選ぶ男性が増える
- 大企業や政府に対する不信感が強まる
- 幸福感が弱まる
- 余暇時間が増える

# 未来を形作る要因⑤

## エネルギー・環境問題の深刻化

- エネルギー価格が上昇する
- 環境上の惨事が原因で住居を追われる人が現れる
- 持続可能性を重んじる文化が形成され始める

# シミュレーション①いつも時間に追われ続ける未来ーロンドンのジル



# シミュレーション②孤独にさいなまれる 未来ームンバイのローハン



家族の形態が変化し、  
別居形態が増える

グローバル化によりメ  
ガシティに住む人が増  
える

テクノロジーの  
進化により自宅で  
仕事が可能に

エネルギー価格の上  
昇により、  
海外の仕事相手  
や家族に  
会いにいけない

孤独に  
さいなま  
れる

# シュミレーション③ 繁栄から締め出される未来ーオハイオ州のブリアナ



不安から来る絶え間ない  
自己アピール

バブルの形成と崩壊の繰り返し

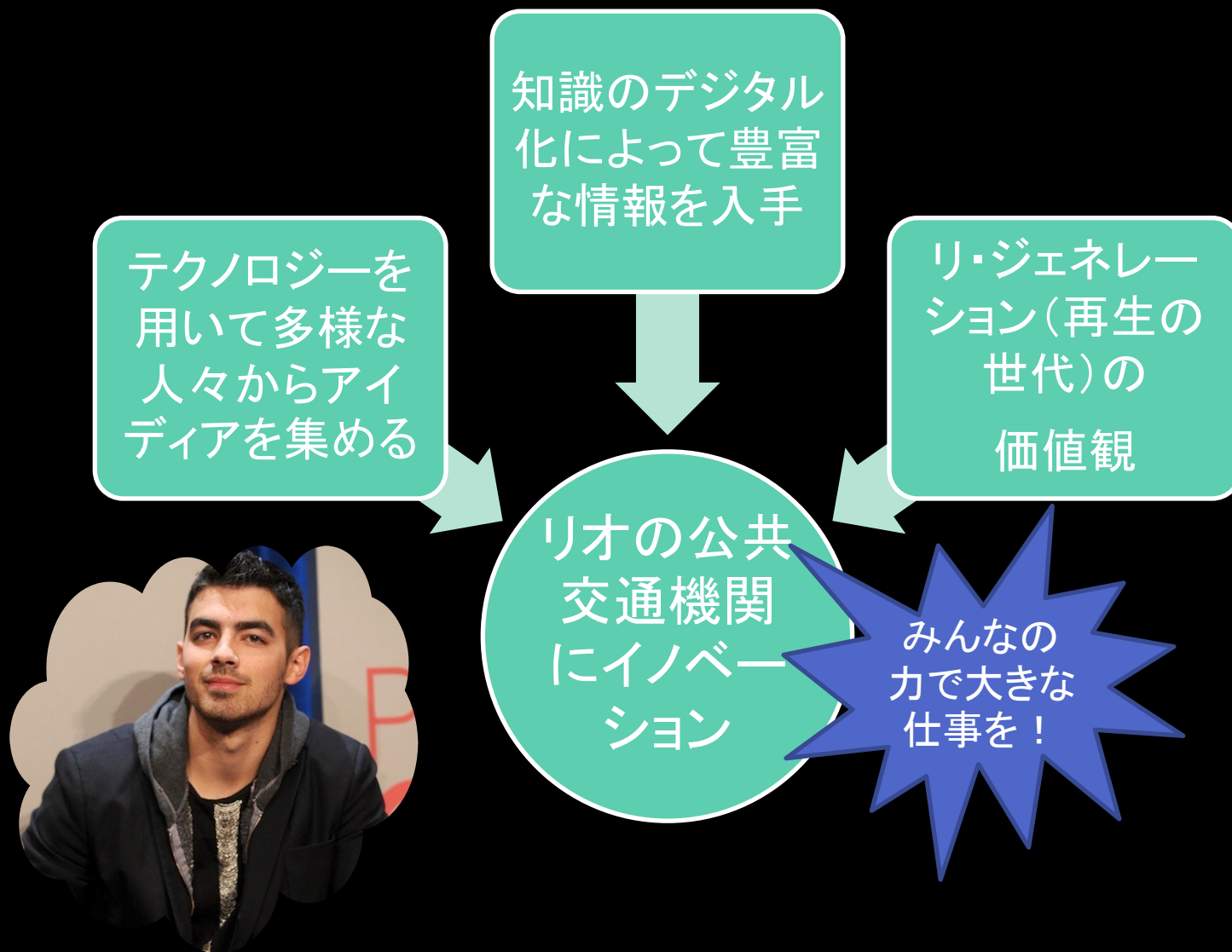
勝者総取りによる経済格差の発生

優秀な人材は容易に移住、  
それ以外は残される

他人への不信感、劣等感、コミュニティの崩壊

先進国にも新しい貧困層が！

# シュミレーション④コ・クリエーションの 未来ーリオのミゲル



# シミュレーション⑤積極的に社会と関わる未来ーチッタゴンのジョンとスーザン

Y世代の価値観：経験と学習機会の重視

自分を見つめ直す傾向



インターネットの発達により、遠くの世界の人にも共感

女性の地位の向上、新しい夫婦関係

自発的に選んだオリジナルの人生

社会活動を重視



# シミュレーション⑥ミニ起業家が活躍する未来ー河南省のシュイ・リー

プロジェクト単位  
の水平な  
関係を構築

人材輩出大国と  
しての中国

テクノロジーの  
進化により低コ  
ストで  
情報交換

長寿化によって  
生涯現役

夢中になれる仕  
事で自己表現、  
独立して  
いつまでも  
働ける



# 『WORK SHIFT』の提案

ゼネラリスト

スペシャ  
リスト



孤独に競い  
合う生き方

他の人と関わり協力し  
合う生き方

大量消費志  
向のライフス  
タイル

意義と経験を重んじる  
ライフスタイル

コロナによる変化も  
含めて、もう一度  
未来の労働について  
考えてみましょう

